

平成16年1月1日

シルバー

かわさき

第16号

〒川崎市シルバー人材センター

川崎市川崎区堤根34番地19

電話 044 (222) 1550

賀春



寄せ植え (松竹梅)

小泉正治氏作 (中部事務所会員)

新年のごあいさつ

常務理事・事務局長 樋口 勝美

明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととよろこび申し上げます。

経済・就業を取りまく環境は依然として厳しい状況にあります。シルバー人材センター事業は会員、発注者、行政など多くの方々に支えられ、おかげをもちまして順調に推移しております。

さらなる本年の飛躍をめざし、会員の増大とそれに対応する新たな就業機会の創出のため、理事長を先頭に施設の拡充、就業システムの改革、機構の整備、就業開拓の強化等に取り組んでいるさなか、旧年11月、一身上のご事情により理事長が退任されました。

大橋為宣理事長は、ご承知と存じますが当センター発足以来、今日まで二十有余年、監事あるいは理事長として事業の発展に尽くされ、平成11年から神奈川県シルバー人材センター連合会理事長の重責も担われ、本市はもとより県下全体のシルバー人材センター事業に大きな寄与を果たされました。

多難な折、理事長の退任は惜しみてなお余りありますが、みなさまのご支援のもと、理事長の意を体し、当センターは事業の発展と安定に努めてまいりたいと存じますので、いっそうのご協力を心より願いますとともに、みなさまのご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

理事長退任のご挨拶

前理事長 大橋 為宣

みなさま、明けましておめでとうございます。突然ですが、このたび、(財)川崎市シルバー人材センター理事長を退任いたします。郷里・鹿児島県の田畑等の管理を委託していた義兄が死去したため、これからは私が直接管理しなければならなくなったからです。その旨を何卒ご賢察下さい。

市のシルバー事業には、昭和五十五年八月、当センター発足に監事として、平成七年五月からは理事長として、また平成十一年五月からは県シ連理事長も兼務しつつ、皆様のご指導とご鞭撻をいただきながら係わって参りました。退任に当たって、感謝申し上げます。

任期途中の退任ですので、後任の理事長が選任されるまでの間、規定により樋口常務理事が理事長職務を代行することになります。市シルバー事業の発展のために、ますますのご支援をお願い申し上げます。退任のご挨拶と致します。

就業機会の分かち合いのために

就業交替制(ローテーション就業制)の

導入について その2

前号の「シルバーニュースかわさき第27号(平成15年10月)」でこのことについてお知らせいたしました。基本的な方針としては、次のような内容が検討されております。

- 同一発注者から受注した仕事で同一の業務に就業できる期間については、原則として3年間(ただし、発注者から承諾が得られた場合には、2年間を限度として延長)
- 当初の対象予定の業務については、就業希望者の多い業務の一つである駐輪場管理業務のうち社団法人全川崎交通安全協会の管理委託分からとし、順次他の業務へ拡大。



北部事務所 関本光宏会員「クロッカス」

シルバーひとくちメモ

「会員証の乱用は慎もう」

会員証を使って金融業者からお金を借り、トラブルとなつている事例が発生し、当センターへの問い合わせがあります。会員証は、就業するときに会員の身分を証明するものですので、それ以外には使用しないようお願いいたします。また、会員の資格を有しなくなった場合は、速やかに返却願います。

「転倒・転落事故に万全の注意を！」

危険のおそれのある作業では、安全帽(ヘルメット)を着用し安全管理につとめよう

シルバー人材センターのつどい



堺すすむ

◆とき

平成16年2月21日(土)

開場：午後12時30分 開演：午後1時

◆ところ

エポックなかはら 大ホール

(南武線武蔵中原駅下車徒歩1分)



神奈川県警察音楽隊

第1部 式典

会員・企業表彰

交通安全教室(神奈川県警察交通安全教育隊)

神奈川県警察音楽隊&カラーガード隊

第2部 アトラクション

堺すすむ(なーんでかフラメンコ)

中国雑技団(曲技)



中国雑技団



◎入場自由、無料。来場者には記念品を用意しております。

表彰
おめでとうございます

会員表彰は、永年にわたりシルバー人材センター事業に従事し功労のあった会員、企業表彰は、永年にわたり継続して仕事を発注し、センター事業の発展に寄与された企業等です。
今年度の表彰者は次の方々です。

○会員表彰(敬称略)

田嶋 福司

松尾 秀雄

長島 憲治

須山 利男

唐戸 元

増淵 良男

山田 三男

秋山 トヨ

内海 良

中村 廣

川島 利彦

鴨志田 四郎

須崎 光雄

神崎 恵夫

○企業表彰

三和倉庫(株)川崎事業所

社団法人全川崎交通安全協会

(株)ジャパンメンテナンス

新百合ヶ丘業務センター

今、第四の人生を
過ごすに当たって



南部事務所会員
松野 公二

誕生以来を秋田の田舎で過ごした幼少年期と、学生時代の多感な時期を「第一の人生」、右も左もわからなかった社会人としての第一歩を踏んでから人生の基礎となった仕事一筋の時期を「第二の人生」、結婚し仕事と家庭が中心であった苦難な時期を「第三の人生」、そして定年退職してから現在に至るこれからの時期を「第四の人生」と認識しております。

定年退職直後の3ヶ月間のうち、体重も増え、あつという間にウエスト辺りに脂肪が増え、典型的な老年形の体型になりかけておりました。体力は有るものの、気力の衰えは如何ともしがたく、何か仕事でもと考えると、ハローワークに通って見ましたが、年齢の関係と景気も下降気味の時期であり、なかなかこれといったものはありませんでした。

IT時代であり、パソコンの知識、経験も無かったので、パソコン經理の専門学校に通いましたが、終了後はまたハローワークに通いましたが、やはり年齢制限により、なかなか希望に合うものはありませんでした。高望みの仕事を探して体をもてあ

そんでいるよりも、体力があり、元気でいるうちは、社会奉仕の気持ちで体を動かしたい、と言う思いで市の広報誌を頼りに、平成13年2月にシルバー人材センターに入会しました。

9月からはマンション清掃の仕事を頂き、15年9月迄は仕事に就かせて頂きました。清掃作業は初めての事で、先輩会員の方から、一通りの作業仕方を教えて貰い従事して参りました。掃き掃除にしても、どの箇所ではどんな用具が最適で効率的か、拭き掃除に際しては、どんな場所にはどのような用具で、どのような使い方をするればより迅速に、綺麗になるかという事を勉強し、よりプロらしい仕事をして、発注者の期待に応えながら、自身の気持ちを糧にしていけるようにとの思いでピルクリーニング講習を受講いたしました。

緑樹管理講習会に参加して

中部事務所会員

米田 貴博



昔から植物が好きで、庭木は自分で剪定していたので、シルバ

のない身のこなし等、講師の先生による模範演技には目から鱗の思いでした。また、雑巾の絞り方、たたみ方、モップの絞り方等の基本とポリリッシャーの操作、効果的な仕方を教えて頂き、自身の実になつていくことは確かに思えます。

現在は、この受講資格と技術を基に、平成15年10月からはピルクリーニング清掃班の一員に加えさせて頂き、まだまだ未熟ながら諸先輩と共に元気に、楽しく清掃作業に従事しております。この清掃班グループも昨年(平成15年4月)発足したばかりで、今後はこの事業を南部事務所職員の方と共に協力しながら、さらに仕事の受注やこれに従事される仲間がどんどん多くなるように頑張っていきたいと思えます。夫々の人生で出会った一期一会を大切に、シルバー人材センターで知り合った皆様と共に「第四の人生」を、執念とプライドを押さえ、ゆつくりと仕上げていければと思っております。

人材センターの植木班に所属して剪定することが面白くてしょうがない毎日である。定年になってから昨年末まで半年間、江戸川技術専門校エクステリア科に通い作庭、各種竹垣根作り、樹木の剪定を実習し、学校の講師をしている庭師のところに行つて剪定を更に体験してきた。しかし、樹木を切るほどに剪定の難しさ

奥の深さを感じるようになった。丁度そのとき、シルバー人材センターが主催する緑樹管理講習会が開かれることを知り、早速申し込んだ。

講習会は、県立向の岡工業高校で、十一月六日から七日間開かれ、参加者は二十五名であった。ほとんどまったくの初心者でこれからどんな事になるかと心配になるような状況であった。講師は、神奈川県造園業協会川崎南支部長の井上さんをはじめとした五人の庭師の方々だった。残念ながら二日間雨で剪定の講習は四日間であった。講習は、三班に分かれ、それぞれに講師がついた。開講式の初日は、道具の説明から始まった。花きりバサミを持ってきたり、ホームセンターの安い刈り込みバサミ、剪定バサミを持ってきたりで講師も大変である。午後は、三脚の立て方から始まりサツキ、ツツジの刈り込みを行った。刈り込みはほとんどの人が経験しているので、それなりに形になった。2日目からは、安全帯、ヘルメットを着けて、班ごとに別々の樹木を剪定した。私の班は、木バサミを使って高さ7〜8mのヒマラヤスギ、高さ5m程のキンモクセイ、1.5m程のツバキの剪定について習った。私はモッコクの剪定を習いたかったので、特別教えて頂いた。雨の日は、棕櫚繩を使つての男結び、四つ目垣の作り方、飾り結び、八つ掛支柱の講習があった。最終日は、刃物の研ぎ方の講習があり、閉講式で修

了した。今回も感じたことだが、剪定はこれが絶対というものがなく、主観がかなり入るものであり、芸術性を要求されるものであるということである。このため、庭師の一人一人の剪定の仕方に特徴があり、今後、更に色々な庭師の剪定の仕方を学び自分の剪定の仕方を作り上げていくべきであろうと感じた次第である。最近の植木職人は、商業ベースの仕事をする時には、売上を上げるために、合理的に短時間で仕上げる事が多く、

「陽の当たる場所」に生きがい



中部事務所会員

中島 喜代志

市のシルバー人材センターの紹介でパチンコ店に勤務してほぼ一年になる。仕事は店の周辺整備で歩道にはみ出た自転車やスクーターの整理とん、ポイ捨てされて散乱するたばこ、空き缶やごみの始末などだ。

仲間は六十三〜七十四歳の男性五人。隔日三人勤務で四時間ごとに引きつぐ。体力的にも無理がない。定刻十五分前に出勤する律儀さ、手を抜かぬ精勤ぶりは我々世代の習性なのかもしれない。現役として社会へ参加できること自体が、う

それに比べると、シルバー人材センターの植木班は、当然、施主の意見を一番に尊重しなければならぬが、丁寧に仕事が出来ると環境なのであるから、そこに、植木職人とのすみわけを見い出すことが出来るのではないだろうか。

シルバー人材センターのおかげで、剪定を学べて非常に良かったし、今後は、経験者の更なる講習があると良いと思っている。

れしい生きがいなのである。

六十代では絶望的な求職状況下、高齢者を登用するシルバー制度は、対価の多少はどうあれ、行政の思いやりに感謝している。

続発する高齢者の自死や迷走ぎみの年金改革、北朝鮮とイラク問題・・・。現状を嘆くのは止そう。人生の先達が気になえさせてどうする。暗い世相だからこそ「唇に歌を、心に太陽を・・・」の心意気で前向きに生きたい。

過去のキャリアが不問なものも気が軽い。還暦を起点に九歳の新米を自認して終日、陽光を浴びる「陽の当たる場所」での屋外作業。濃紺の制服にキリリと身を包み、黄色の「整備員」の腕章を巻いて、ちりとりとほうきを手に、働ける喜びをかみしめている。

各種講習会の状況

平成15年度は前年度に引き続き(社)神奈川県シルバー人材センター連合会主催、当センター共催により次の講習会を実施いたしました。

技能講習会実施状況表

講習会名	場 所	実施日	定員
ビルクリーニング	サンライフ川崎	9月16日(火) ～ 9月26日(金)	25名 応募者 36名
ホームヘルパー3級	中小企業・婦人会館	9月29日(月) ～ 10月10日(金)	50名 107名
緑樹管理 (剪定)	向の岡高校	11月6日(木) ～ 11月14日(金)	25名 55名

ビルクリーニング講習会



この講習会は、雇用・就業を希望する高齢者を対象に、業種に応じた基礎的知識や技能を修得することにより、就業の機会の確保に役立てるために実施したものです。

各講習会は定員をオーバーしたため抽選で決定いたしました。受講生は、講師の方々の熱心な指導の

ホームヘルパー3級講習会



もとに、知識や技能を身につけようとして懸命に取り組む、「習得した知識を社会に役立てたい」などの声も聞かれ、講習会の成果が伺われました。

ビルクリーニング、緑樹講習会の最終日には、協力いただいた関係団体・ハローワークによる就職相談会も行われました。

このような講習会は、今後も継続していく予定であります。ひとりでも多くのご応募を願っております。

緑樹管理講習会



南部事務所



◎幸区民祭報告

平成15年10月19日(日) 参加者18名
 例年どおりPR用のティッシュを配り、普及啓発を行いました。今年はシルバーのパンフレットを基にして折り込み用のしおりを作成しました。宝寿会のメンバーを中心に会員の皆さんが積極的に市民の方へPRしたことで、区民祭でシルバーを知った方々からの入会や仕事の依頼の問い合わせがあり、とても良いPRができたと思います。

◎宝寿会行事のお知らせ

花見会を平成16年4月上旬に予定していますが場所は未定です。2月下旬には決まりますので、詳しくは南部事務所までお問い合わせ下さい

中部事務所

◎忘年会報告

平成15年12月12日(日) 参加者70名
 最終行事の忘年会は、今年も酒蔵十字屋で行われました。

忘年会だけは、何とか仕事の都合をつけて参加するという会員も多く、参加人数70名と過去最大の大盛況!!

16年も、センター会員として仕事に励み、センターを盛り立てようと誓い合いました。

恒例の「はずれなし抽選会」は、一位になんと新米のこしひかりが用意され、大にぎわいの抽選となり、大好評でした。



北部事務所



◎あさお区民祭報告

平成15年10月12日(日)
 参加者35名

今回も昨年同様、あさお区民祭に参加し、センターのPR活動をおこないました。開始直前まで小雨がばらついており、天候が危ぶまれましたが、なんとか雨もあがり、人出も上々で、用意していたティッシュ及びパンフレット約2千部を多数の会員のみなさんの協力のもと、無事配り終えました。また、今年も手作り、「竹笛」「竹とんぼ」コーナーは大盛況でした。

事務局通信

平成15年中にセンターで仕事をされた会員の方全員に「配分金支払証明書」を送付いたしますので、所得税の確定申告の際に使用してください。「配分金」の所得税法上の取扱いについては、次のとおりとなります。

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上「雑所得」となり、原則的に確定申告が必要になります。

ただし、平成15年中の収入が配分金のみの場合、配分金額が103万円以下〔老年者(注1)に該当する方は153万円以下〕の方は、税務署に確定申告する必要はありません。

なお、配分金が103万円を超える方は、扶養親族・控除対象配偶者に該当しなくなりますので、ご注意ください。

また、平成15年中の収入が配分金と公的年金の場合、下の速算表で算出した公的年金の雑所得の額と、配分金から65万円(注2)を差し引いた額の合計額が38万円以下〔老年者に該当する方は88万円以下〕の方も、税務署に確定申告する必要はありません。

しかし、平成15年中に配分金と公的年金以外に他の収入がある場合は、税務署に確定申告する必要があるかどうかは計算しないとわかりませんので、最寄りの税務署にお尋ねください。

(注1) 昭和14年1月1日以前に生まれた方で、合計所得が1,000万円以下の方

(注2) 配分金が65万円以下の場合配分金の額

[平成15年分公的年金等に係る所得金額の速算表]

受給者の生年月日	公的年金等の収入金額の合計額 A		公的年金等の雑所得の額
昭和14年1月2日 以降に生まれた方	130万円未満		A-700,000(赤字は0)
	130万円以上	410万円未満	A×0.75 - 375,000
	410万円以上	770万円未満	A×0.85 - 785,000
昭和14年1月1日 以前に生まれた方	770万円以上		A×0.95 - 1,555,000
	260万円未満		A-1,400,000(赤字は0)
	260万円以上	460万円未満	A×0.75 - 750,000
昭和14年1月1日 以前に生まれた方	460万円以上	820万円未満	A×0.85 - 1,210,000
	820万円以上		A×0.95 - 2,030,000

※税務署確定申告の必要がない場合でも、住民税の申告が必要となる場合がありますので、その際は各区役所までお問い合わせください。

問合わせ先

川崎南税務署
☎555-7931(仮庁舎)
川崎北税務署
☎852-3221
川崎西税務署
☎965-4911

平成16年 配分金支払日一覧表

1月21日(水)
2月16日(月)
3月15日(月)
4月15日(木)
5月19日(水)
6月15日(火)
7月15日(木)
8月16日(月)
9月15日(水)
10月15日(金)
11月15日(月)
12月15日(水)

平成16年の配分金支払日は右の表のとおりです。1月・5月は連休明けのため、通常の配分金支払日とは異なりますので、ご注意ください。

※配分金とは、シルバー人材センターで就業した会員へ月締めで支払われる報酬のことです。
会員が指定した川崎信用金庫又は郵便局の口座へ働いた月の分を、翌月の配分金支払日に、センターから振り込みます。

編集後記

前回のシルバーニュースかわさき第27号で募集しました「投稿写真」や、会員の「文書投稿」などご協力頂きありがとうございました。
今後このような会員参加型の会報づくりに力を注いで参りたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

明けまして

おめでたうございます

平成十六年が、皆様にとって良い年となることを祈念しております。
今年も宜しくお祈りいたします。

職員一同